

Φ 34 ビッグスロットルボディ KIT No.1/3

商品コード	403-1452000
適合車種	グロム (2BJ) FNO,JC92-1000001 ~ 1099999
備考	※ノーマルエアクリーナーは対応できません。またノーマルエアクリーナーを取り外すため、シュラウドステー SET の装着をお勧めします。 ※当社製ボアアップ kit (145cc) 車にご使用される場合は別途、大容量インジェクター (x1.3) をご使用ください。チューニング度合いより、ノーマルインジェクターで対応できる場合もございます。

●この度はキタコ製品をお買い求め頂き誠に有り難うございます。説明文を良く理解して正しい取付を行って下さい。

△ご使用時の注意

- ノーマル車両から仕様が大幅に変わる為、インジェクションコントローラー (i-Map) が必要です。また i-Map の設定に無い組み合わせ (マフラー、カム、排気量) の場合は高い確率で再セッティングが必要になります。
- ビッグスロットルボディ KIT に対応した i-Map の燃調マップは、地域や個体差により、ベストな燃料セッティングが出ていない可能性があります。またオールシーズンには対応できなく、気候等の環境に合わせた再セッティングが必要になる可能性があります。

■製品、装着についての注意

- このパーツはレース専用設計です。従って本来はクローズドコース専用での使用を目的としている為、一般公道で使用される場合は道路運搬車両法及び、道路交通法に従い、法定内での運転を心掛けて下さい。事故、道路交通法違反は、全て運転手本人の責任とし、当社は一切の責任を負いませんので御了承下さい
- 組み立てミス、セッティング不良等による事故、パーツの破損等については全て本人の責任とし、当社は一切の責任を負いませんので御了承下さい。
- 組み付けミス及び、セッティング不良等によるエンジンその他関連パーツの破損、それに伴う事故等については全て運転者本人の責任とし当社は一切の責任を負いませんのでご了承下さい。
- 組み付け及び、セッティング作業は必ず、整備士資格のある方が行って下さい。また周辺部品の役割等が理解できない方は必ず、専門店の担当者又は、当社までご相談下さい。
- 説明書に記載されていない改造や仕様変更等は絶対にしないで下さい。故障、破損の原因にもなります。また精密機械ですので、強い衝撃等を与えたり、分解したりしないで下さい。
- 取付の際、必ず車種ごとのメーカーサービスマニュアルと合わせて取付作業を行って下さい。
- このパーツを装着することにより、出力特性がノーマルと異なりますので、その出力に見合ったブレーキの強化、操縦安定性の向上等を実施し、十分注意してライディングして下さい。
- スパークチェックの為、シリンダー外でプラグをスパークさせる行為は、絶対に行わないで下さい。引火し、爆発しますのでご注意下さい。
- お気付きの点や、異常を発見した場合は直ちに走行を停止して、当社までご連絡下さい。

パッキングリスト (図の番号と照合させて作業を進めて下さい)

図記号	パーツ名	商品コード	個数	図記号	パーツ名	商品コード	個数
1	スロットルボディ (Φ 34)	403-1300101	x1	5	ジョイントパイプ Φ 45	515-1471102	x1
	Oリング	403-1300102	x1	6	ステンレスバンド (W9#60) 40-60mm	995-0500060	x2
2	マニホールド (Φ 34)	100-1452000	x1	-	サービスコネクタ SET (ホンダ 6P 用)	764-9011200	x1
3	UNI フィルター (Φ 46) PK-7E	515-1100100	x1	7	ジャンパーハーネス	-	(x1)
4	シリコンホース (UNI/GROM)	515-1452001	x1	8	サービスコネクタ 6P/ホンダ	-	(x1)

オプションパーツ

パーツ名	商品コード
I-MAP フィードバックキャンセラー SET (グロム JC92)	763-1452200
シュラウドステー SET	360-1452500

オプションパーツ

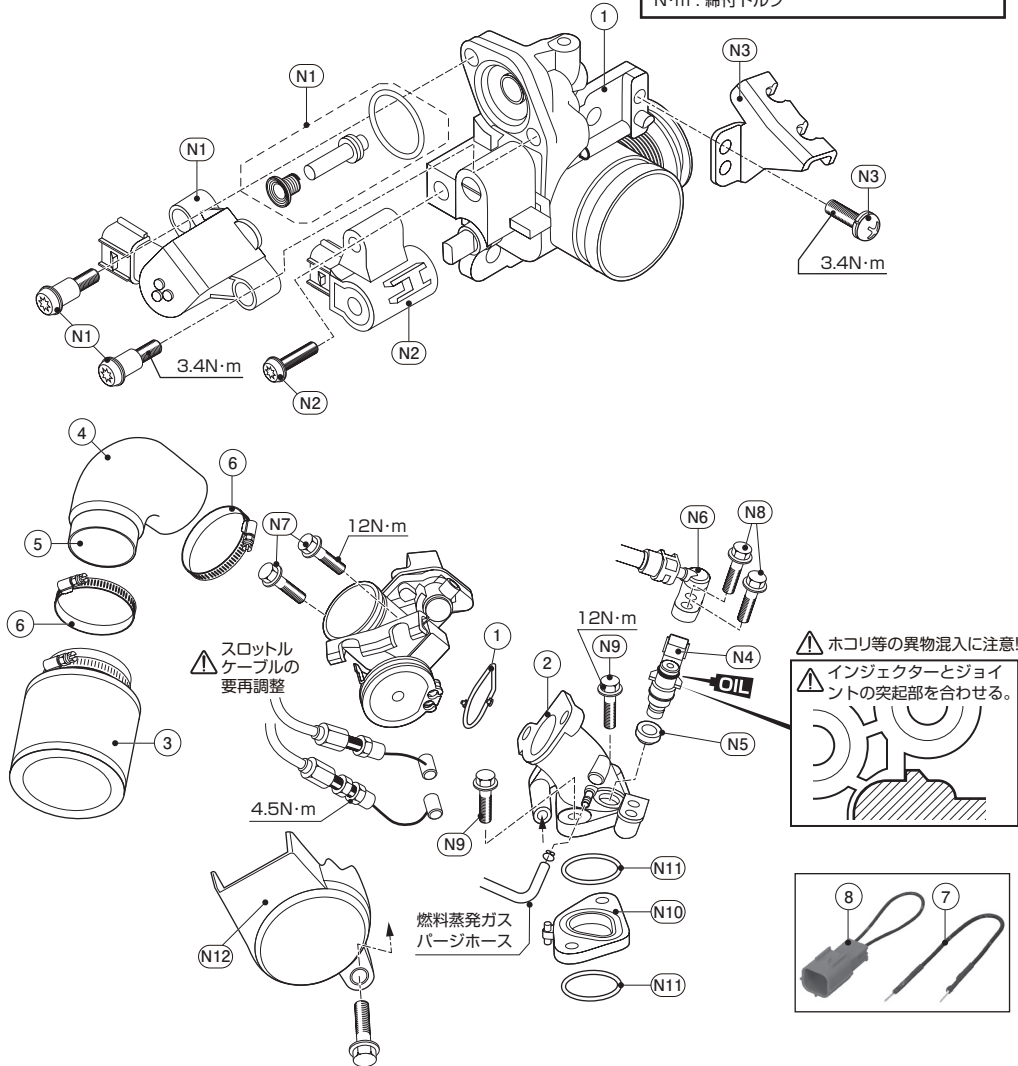
パーツ名	商品コード	商品コード
大容量インジェクター x1.3	403-9000050	x1.9 403-9000030
x1.6	403-9000020	x2.6 403-9000040

純正パーツ

図記号	パーツ名	個数	図記号	パーツ名	個数
N1	ファストアイドルソレノイドバルブ (2P/ 灰カブラ)	x1	N6	インジェクタージョイント	x1
	トルクススクリュー (IAC バルブ取付スクリュー)	x2	N7	フランジボルト M6x20	x2
N2	スロットル開度センサー (3P/ 黒カブラ)	x1	N8	フランジボルト M6x22	x2
	トルクススクリュー (スロットルセンサー取付スクリュー)	x1	N9	フランジボルト M6x28	x2
N3	スロットルケーブルブラケット	x1	N10	インシュレーター	x1
	ブラケット取付スクリュー	x1	N11	Oリング (31.5x2.4)	x2
N4	インジェクター (2P/ 黒カブラ)	x1	N12	スロットルケーブルカバー (取付ボルト/ワッシャ)	x1
N5	シールリング	x1			

スロットルボディ展開図

図は、ビッグスロットルボディの部品及び、それに関する純正部品を記載しています。他の部品の記載は省略しています。
※純正パーツに摩耗、傷等がある場合は新品に交換して下さい。



△注意

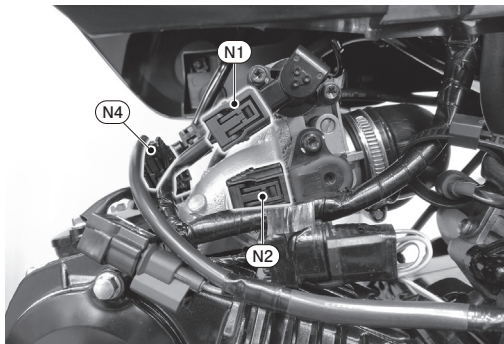
- スロットルボディと各センサー、インシュレーター、フューエルインジェクタの組み立て後は、スロットル開度センサーのリセットを行って下さい。(別紙 No.2 に記載)
- スロットル開度センサーのリセットは i-Map を取り外した状態で行ってください。(ノーマル配線状態)

Φ 34 ビッグスロットルボディ KIT No.2/3

商品コード 403-1452000

取付手順

- | ●取り外し | ●取り付け |
|---|---|
| 1 エアクリーナの接続を外してスロットルボディ から取り外します。 | 1 ビッグスロットルボディに以下の部品を組み付けます。
・ (N1) IAC バルブ (ファストアイドルソレノイドバルブ) |
| 2 スロットルケーブルカバー (取付ボルト/ワッシャ) を外します。 | ※ バルブシート、スプリング、Oリングに破損などが無いか確認し、純正のトルクスクリューで装着してください。 |
| 3 スロットルボディから (N3) スロットルケーブルブラケット及び、ケーブルを外します。 | ・ (N2) スロットル開度センサー (純正のトルクスクリュー再使用) |
| 4 (N1) ファストアイドルソレノイドバルブ [IAC バルブ] (2P/灰)、(N2) スロットル開度センサー (3P/黒)、(N4) フューエルインジェクター (2P/黒) カプラを抜きます。燃料蒸発ガスパーズホースもインテークマニホールドから外します。(付属のマニホールドのニップルに接続します。) | ・ (N3) スロットルケーブルブラケット (純正ネジ再使用)
・ (3~5)UNI フィルター/ジョイントパイプ/ホース類 |
| 5 インテークマニホールドから (N4/5/6) インジェクタ/シールリング/ジョイント/のボルト2本を外し、インジェクタを外します。 | 2 付属の (2) インテークマニホールドに以下の部品を取り付け、シリンダーヘッドに組み付けます。
・ (N10/11) インシュレーター/Oリング (純正再使用)
・ (N4~6) インジェクター/シールリング/ジョイント (純正ボルト再使用)
【スロットルボディ展開図の注意事項参照！】 |
| ※ インジェクターの脱着時、インテークパイプ等、インジェクター周辺パーツ、フューエルホースには絶対にホコリなどが入らない様ご注意ください。万が一ホコリ等が入ってしまうとインジェクターが目詰まりを起こし正常に作動しなくなる恐れがあります。 | 3 スロットルボディとインテークマニホールドを純正のフランジボルトで組み付けます。 |
| 6 スロットルボディ、インテークマニホールドを外します。各 M6 フランジボルト 2本 (計4本) は再使用します。(インシュレーター類は再使用します) | 4 (N3) スロットルケーブルブラケットにケーブルを接続します。
※ この時、スロットルケーブルに適度な遊びが確保できる様にアジャストナットを取り付けてください。遊びが無いとアイドリングの回転数が上がったままの状態になります。 |
| | 5 (N1) IAC バルブ (2P/灰)、(N2) スロットル開度センサー (3P/黒)、(N4) フューエルインジェクター (2P/黒) カプラを接続します。 |
| | 6 スロットル開度センサーのリセットを行います。
【DTC の読み出し / 消去、ECM/TP リセット手順参照】 |



純正パーツ

図記号	パーツ名
N1	ファストアイドルソレノイドバルブ (2P/ 灰カプラ)
N2	スロットル開度センサー (3P/ 黒カプラ)
N4	インジェクター (2P/ 黒カプラ)

故障診断コード (DTC) の読み出し / 消去、エンジンコントロールユニット (ECM) / スロットル開度 (TP) のリセット手順



製品を装着する際に、エンジンコントロールユニット (ECM) やセンサー類の初期化作業が必要です。その際にサービスコネクタ SET をご使用ください。

商品名 / 付属品	商品コード
サービスコネクタ SET (ホンダ 6P 用)	764-9011200
またはホンダ純正品番: 070MZ-0010300	

△注意: スロットル開度センサーのリセットは i-Map を取り外した状態で行ってください。(ノーマル配線状態)

▼ 保存されている故障診断 DTC* の読み出しと消去

*DTC = 診断トラブルコード / Diagnostic Trouble Codes

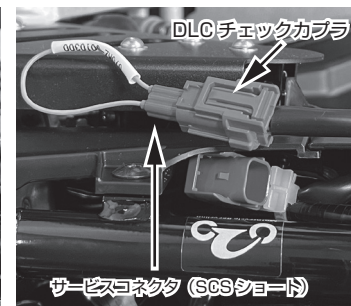
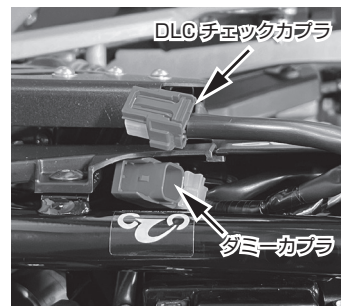
詳しくはサービスマニュアルを参照して下さい。

*DLC = Data Link Connector

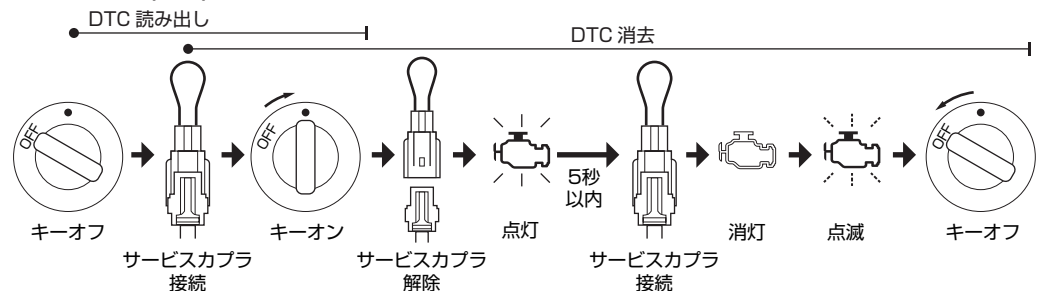
※ ECM に DTC* が保存されていない状態で、この作業を行って下さい。DTC が保存されている状態だとリセットはできません。保存されている場合は DTC の消去を行ってください。(詳細は保存された DTC の読み出しと消去手順を参照)

- | ● (DTC) 診断データの読み出し | ● 保存された (DTC) 診断データの消去 |
|--|--|
| ・ メインスイッチを "OFF" にする。(キルスイッチが " " の状態) | ・ サービスコネクタをサービスチェックカプラ (DLC) に接続する。 |
| ・ シート下右側にあるサービスチェックカプラ (DLC) からのダミーカプラを取り外す。 | ・ メインスイッチを "ON" にする。 |
| ・ サービスコネクタ (SCS ショート) を使用して DLC 端子を接続する。 | ・ DLC からのサービスカプラを取り外す。 |
| ・ メインスイッチを ON にする。 | ・ PGM-FI 警告灯が 5 秒間点灯している間にサービスコネクタを DLC に再度接続する。 |
| ・ PGM-FI 警告灯の点滅を読み、故障診断表を参照する。 | ① PGM-FI 警告灯が消灯して点滅を始めたなら、DTC は消去されている。 [成功パターン] |
| ① ECM のメモリ内に格納された過去の問題がある場合、PGM-FI 警告灯は 0.3 秒間点灯後、DTC の点滅を開始する。(診断コードの詳細はサービスマニュアルを参照) | ① PGM-FI 警告灯が点灯している間にサービスコネクタを再接続させる必要がある。そうでないと、PGM-FI 警告灯は点滅を開始しない。この場合メインスイッチ OFF で、もう一度やり直すこと。 |
| ① PGM-FI 警告灯が点灯したままの場合は、DTC は保存されていません。 | ① PGM-FI 警告灯が点滅する前にメインスイッチを OFF にした場合、DTC が消去されないので注意すること。 |

グロム (JC92) 右側シートレール付近
DLC サービスチェック / ダミーカプラ



故障診断コード (DTC) の読み出し / 消去



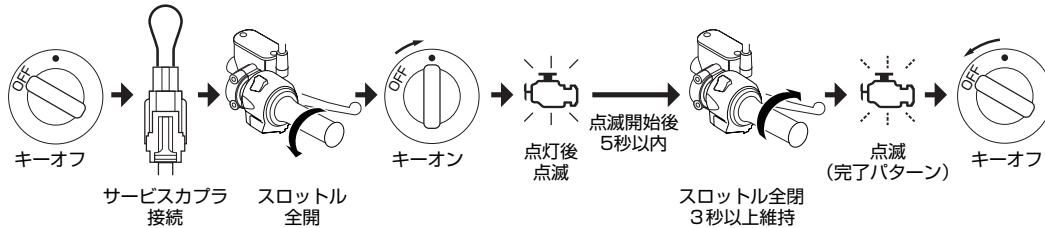
Φ 34 ビッグスロットルボディ KIT No.3/3

商品コード 403-1452000

▼ エンジンコントロールユニット (ECM) の初期化

- 1 メインスイッチを "OFF" にして下さい。
 - 2 各車種のサービスマニュアルでサービスチェックカプラー位置を確認の上、サービスチェック 4P または 6P カプラーから、ダミーカプラーを取り外します。付属のサービスコネクタをサービスチェック 4P または 6P カプラーに接続して下さい。
 - 3 スロットルを完全に開けた状態にし、その状態を維持してください。(キルスイッチが " " の状態)
 - 3 メインスイッチを ON にし、PGM-FI 警告灯を確認する。
- ※ PGM-FI 警告灯が点灯後、短く速い点滅を開始します。
- 4 PGM-FI 警告灯の点滅開始後、5 秒以内にスロットルを閉じ、その状態を 3 秒以上維持してください。
- ※ PGM-FI 警告灯が長い間隔で点滅し、(1 回) 繰り返します。 [完了パターン]
- 5 メインスイッチを "OFF" にして下さい。

エンジンコントロールユニット(ECM)初期化



▼ スロットル開度 (TP) センサーのリセット

- スロットルボディ取り付け後など、下記のセンサーのリセット作業を行ってください。
- ※ 車種によりジャンパハーネスを使用する場所が異なりますので、詳しくはサービスマニュアルを参照して下さい。
- ※ スロットル開度センサーのリセットは i-Map を取り外した状態で行ってください。(ノーマル配線状態)

*DTC = 診断トラブルコード / Diagnostic Trouble Codes
*DLC = Data Link Connector

- ・メインスイッチを "OFF" にしてから、サービスチェックカプラー (DLC) 位置を確認の上、DLC の 4P または 6P (赤) カプラーからダミーカプラーを取り外します。
- ・付属のサービスコネクタ (SCS ショート) を使用して DLC 端子を接続する。
- ・油温 (EOT) センサ (または水温センサ) コネクタを取り外し、付属の「ジャンパハーネス」を接続して下さい。
- ・メインスイッチを "ON" にして下さい。(キルスイッチが " " の状態)

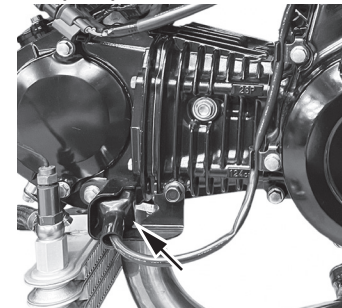
- 1 PGM-FI 警告灯が「リセット受信パターン」の点滅 (0.3 秒 / 1.3 秒間隔) を開始
- ・10 秒以内に「ジャンパハーネス」を油温センサ (または水温センサ) コネクタカプラーから取り外します。
- 1 PGM-FI 警告灯が先程より短い間隔 (0.3 秒) の点滅を始めれば、リセットが完了。

- ※ 10 秒以上経過した場合および手順が正しくない場合は、PGM-FI 警告灯は点灯状態となる。 [リセット失敗] 再度、リセット作業を最初からやり直す。

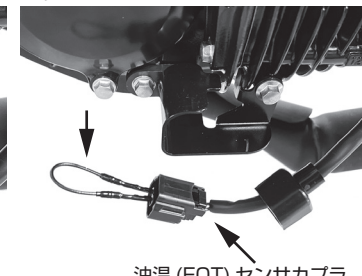
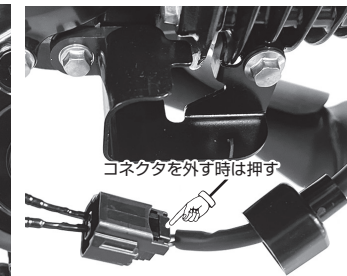
メインスイッチを "OFF" にして下さい。

油温センサ (または水温センサ) コネクタを接続し、DLC からサービスコネクタを取り外して下さい。

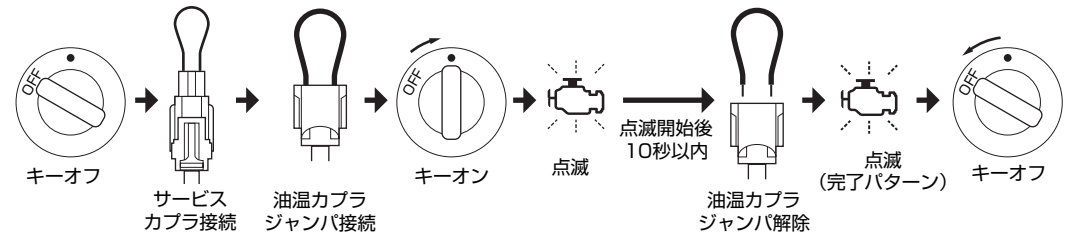
油温 (EOT) センサ



ジャンパハーネス



スロットル開度センサーのリセット手順



製品の保証について

- 製造には万全を期しておりますが、万一当社の製造上の原因による品質不良がありました場合は同様、同数の新しい製品とお取り替え、又は無償修理致しますが、それに伴う故障、破損、事故等についてのパーツ代金、整備費用の代償はご容赦下さい。
- 当社製品の保証期間は商品購入後から6ヶ月です。



230914 M-T
〒 577-0015
東大阪市長田 3-8-13
TEL.06-6783-5311 (代)
FAX.06-6782-0740